

『依頼者の争続を防ぐための ケーススタディ遺言・相続の法律実務』 出版のお知らせ

今年2月、書籍『依頼者の争続を防ぐための ケーススタディ遺言・相続の法律実務』を出版しました。

遺言・相続は、取り扱いを間違えれば争続に発展しかねず、紛争の予防・解決の専門家である弁護士の活躍が期待される分野です。本書は、実務において頻出するケースだけでなく、より専門的な知識が求められるケースについても取り扱い、それぞれのケースについて実務的な留意点にも触れており、弁護士にとっても有益な内容となっております。

弁護士会館地下1階にあります「弁護士会館ブックセンター」でもお買い求めいただけますので、是非この機会にお手に取ってご覧ください。

〈主要目次〉

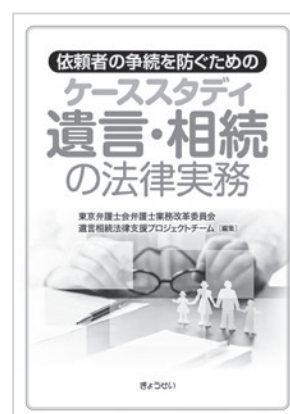
序 遺言相続における弁護士の役割

第1章 遺言相続及び関連業務に関連する前提知識

第1 遺言について／第2 相続・遺産分割について

第2章 ケーススタディ

第1 生前対策／第2 遺言の効力・遺言執行について／第3 相続・遺産分割



東京弁護士会弁護士業務改革委員会
遺言相続法律支援プロジェクトチーム[編集]
株式会社ぎょうせい 2022年2月発行
A5判・312頁
販売価格：3,630円(本体3,300円+税)